

第21回大阪府公共建築設計コンクール「あすなる夢建築」

ー表彰式・プレゼンテーションー

日時：平成24年3月27日(火) 13:00 ~

場所：大阪府咲洲庁舎 23階 中会議室



主催：大阪府・大阪府住宅供給公社・社団法人大阪府建築士会

審査委員長 大坪 明（武庫川女子大学 生活環境学部教授）

受賞者一覧(敬称略)

最優秀作品賞	田中 一宣	大阪府立守口高等職業技術専門校	1年
優秀作品賞	村田 豊隆	大阪市立都島工業高等学校	2年
優秀作品賞	徳原 俊樹	大阪建設専門学校	1年
優秀作品賞	山田 善紀	大阪建設専門学校	2年
佳作	神山 貴成	大阪府立今宮工科高等学校	3年
佳作	西岡 広登	大阪市立都島工業高等学校	2年
佳作	伊地知 真人	大阪建設専門学校	1年
奨励賞	佐藤 雄亮	大阪府立大学工業高等専門学校	5年
奨励賞	石井 晶		
	岡崎 哲也	大阪建設専門学校	2年

【表彰式】

13:00 開 会

13:05 開会挨拶

13:10 表彰 受賞9賞（10名）

13:25 閉 会

13:30 記念撮影

【プレゼンテーション】

14:00 開 会

主催者代表開会挨拶

14:15 プレゼンテーション（1人12分×4作品）

（発表：5分、質疑：5分、入替え2分）

15:05 休 憩（10分）

15:15 プレゼンテーション（1人12分×5作品）

（発表：5分、質疑：5分、入替え2分）




16:20 審査講評

審査委員長 大坪 明（武庫川女子大学 生活環境学部教授）

閉会挨拶

16:30 閉 会

— 受賞者の声 —

最優秀作品賞	田中 一宣	大阪府立守口高等職業技術専門校 1年
<p>私は今回のコンクールに応募するにあたり、自分自身がどれだけできるのか、これまで考えたことのない公衆トイレという建築をどのように表現できるのか、挑戦してみようとの思いで臨みました。</p> <p>賞をいただけるなど全く思っていませんでしたが、最優秀作品賞という結果を残すことができ、驚きとともに、非常に嬉しさが込み上げてきました。</p> <p>また、今後建築をやっていく上での自信にもなりました。</p> <p>私が考えたプランが実際に建設されるということが一つの夢となり、今から非常に楽しみにしかたありません。</p> <p>あすなる夢建築に挑戦して非常に良かったと思います。</p>		
優秀作品賞	村田 豊隆	大阪市立都島工業高等学校 2年
<p>初めてのコンクールで賞を受賞することが出来て、うれしさと同時に驚きの気持ちでいっぱいです。</p> <p>今回のコンクールは自分自身にとって初めての設計コンクールだったので何をどうすればよいのか良く分かっていませんでした。学校や大学の先生の指導を受け、実際にコンクールの条件にあった建築物の構想を考えて、さらにそれを図面として仕上げることをやってみて設計コンクールの大変さが分かりました。将来は建築士として建築物を設計する仕事をやりたいと思っていますので、今回のコンクールに参加して図面を仕上げるまでの大変さが分かったことは自分自身にとっても、とてもプラスになり、将来にも役立つと思います。ほんとうにありがとうございました。</p>		
優秀作品賞	徳原 俊樹	大阪建設専門学校 1年
	<p>専門学校で1年間勉強して、建築を作り上げることは難しいということを理解できるようになった中で、このたび賞をいただいた事は、今後建築を志していくうえで、大きな励みとなりました。</p> <p>最優秀作品となれば学生のアイデアでも実際に建設されるという主旨が、各要素の寸法や動線計画、そして人に喜ばれる建物になるかという検討を真剣に行う事につながり、結果的に充実した設計活動を体験することができたと感じており、学生の間でこのような経験ができたことに感謝しております。</p> <p>これから学校の課題を進めるにあたって、実際に建設される事を今まで以上に想定して、永く愛される建築の作り出せるよう、努力していきたいと考えております。</p> <p>今後はプロの方々も参加するコンペティションでも、魅力的かつリアルな設計で賞を頂く事を目標としていきたいと思っております。ありがとうございました。</p>	

優秀作品賞	山田 善紀	大阪建設専門学校 2年
<p>今回、私の作品を優秀賞に選んでいただきありがとうございます。 あすなろ夢建築に出すのは2回目今回入選したことで1回目からの成長を感じることができ、 また、自分の作品が認められ自信ができました。 これからは、この自信を胸に夢に向かってがんばろうと思います。</p>		
佳作	神山 貴成	大阪府立今宮工科高等学校 3年
<p>今回このような賞をいただけて本当に嬉しく思っています。 高校3年生の最後に自分がどれくらいのところまでいけるか、挑戦するという気持ちでこのコンクールに臨みました。この作品は自分が設計した中で一番力を込めて作った作品で、何度も考え直したり、修正したり本当に試行錯誤して作った作品です。 結果がわかった時は本当に驚きうれしかったです。このような経験ができてすごく勉強になりました。この経験を今後活かしていきたいと思います。 ありがとうございました。</p>		
佳作	西岡 広登	大阪市立都島工業高等学校 2年
<p>「あすなろ夢建築」という大きなコンクールで賞を受賞できたことをとても嬉しく思います。 今回、公衆トイレの設計ということで、自然の中で気持ちよく利用できるトイレをと思い、使いやすさ、掃除のしやすさなどを重点に考えて設計を行ないました。円と四角形を使ってシンプルな形にしました。また、シンボルツリーであるハナミズキを植えることで、シンプルなデザインでも目を引くことができました。 この受賞により自分の中で大きな一歩と自信をつけることができ、今後の設計課題にもさらに積極的な気持ちで望みたいと思います。</p>		

佳 作	伊地知 真人	大阪建設専門学校 1年
<div data-bbox="180 232 429 524" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="448 241 1410 517" data-label="Text"> <p>初めて本コンクール参加し、入選できたこと本当に嬉しく思います。 まだ建築の知識が浅い私なので、ちゃんとした建物が作れるのかとても心配でした。 しかし、学校の先生方や同じ学部の生徒から数々の助言をもらい、一つずつ自分に吸収することで、今まで知らなかったことや、注意すべきことなど、さまざまな発見がありました。</p> <p>そういったことを生かして今回の結果につながる事ができたので、お世話になった学校の先生方と同じ学部の生徒達には感謝の言葉もありません。</p> <p>今回のコンクールに入賞できたことは、自分への大きな自信につながる事ができました。 今回のような作品がこれからもたくさん作れるように、日々努力していきたいと思えます。</p> <p>最後に今回のコンクールに入選させて頂いて本当にありがとうございました。</p> </div>		
奨励賞	佐藤 雄亮 ・ 石井 晶	大阪府立大学工業高等専門学校 5年
<div data-bbox="175 1028 288 1061" data-label="Section-Header"> <p><u>佐藤さん</u></p> </div> <div data-bbox="175 1072 1449 1205" data-label="Text"> <p>今回のコンクールでは、高専5年間の最後の作品としてどうしても結果を残したいと思っていました。そのため今回このような賞を頂いて大変嬉しく思っています。また今まで建築設計には全く自身がありませんでしたが、今回評価されたことで少し自信がついたと思えます。</p> </div> <div data-bbox="175 1216 1449 1299" data-label="Text"> <p>現在は一級建築士を目指していて、そのため大学に進学しこれからも建築の知識を深めていきたいと思っています。</p> </div> <div data-bbox="194 1312 896 1348" data-label="Text"> <p>今回このような賞を頂けて光栄です。ありがとうございました。</p> </div> <div data-bbox="1046 1314 1406 1550" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="175 1408 288 1442" data-label="Section-Header"> <p><u>石井さん</u></p> </div> <div data-bbox="175 1453 1011 1538" data-label="Text"> <p>来年度から二人で別々の大学に進学しますが、お互い切磋琢磨して、今回賞をいただいた経験を活かしていきたいです。</p> </div>		
奨励賞	岡崎 哲也	大阪建設専門学校 2年
<div data-bbox="180 1695 411 1962" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="429 1713 1449 1892" data-label="Text"> <p>建築を学び2年間の集大成として、本コンペの限られた中で自分自身の建築に対する考えを組み立てた結果、この様な賞を頂けたことは大変うれしく思います。本コンペを今後の将来に生かすためには、評価して頂いた部分より評価されなかった部分をどのように自分の中に還元していくのかを考えていきたいです。</p> </div>		



第21回大阪府公共建築設計コンクール「あすなろ夢建築」 プレゼンテーション発表一覧

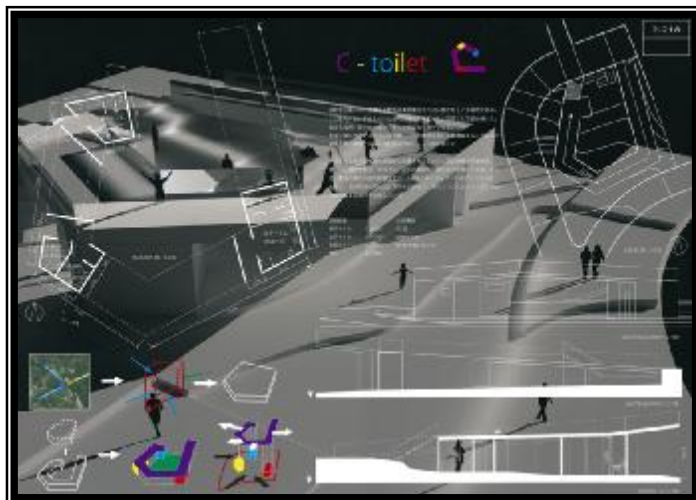
発表順	賞名	タイトル	氏名	学校名	学年	プレゼンのツール	作品番号
1	奨励賞	C-toilet	岡崎 哲也	大阪建設専門学校	2	PPT・音、作品	2-218
2	奨励賞	集落の路	佐藤 雄亮 石井 晶	大阪府立大学工業高等専門学校	5	PPT、模型、作品	2-85
3	佳作	大地に映る大空	伊地知 真人	大阪建設専門学校	1	PPT、模型、作品	2-185
4	佳作	花ミズキに ゆれながら	西岡 広登	大阪市立都島工業高等学校	2	PPT、作品	1-24
5	佳作	自然と水を 一望する。	神山 貴成	大阪府立今宮工科高等学校	3	PPT、模型、作品	1-8
6	優秀作品賞	箱庭 ～蜻蛉池公園公共トイレ～	山田 善紀	大阪建設専門学校	2	PPT、作品	2-204
7	優秀作品賞	tombo	徳原 俊樹	大阪建設専門学校	1	PPT、模型、作品	2-200
8	優秀作品賞	柔らかな光がさし込むトイレ空間	村田 豊隆	大阪市立都島工業高等学校	2	PPT、作品	1-36
9	最優秀作品賞	水とみどりとの調和 ～自然と融合するトイレ～	田中 一宣	大阪府立守口高等職業技術 専門学校	1	PPT、模型、作品	2-53

奨励賞

C-toilet

大阪建設専門学校 2年

岡崎 哲也



【発表】

- ・スライド（音楽入り）によりコンセプト紹介。
- ・東西南北に開かれた場所、敷地はトイレだけの場所ではないと感じた。
約2mの高低差を活かして周囲と建物を絡み合わせるようなトイレを計画、新しいランドスケープが生まれるのではないかと考えた。
周辺の環境を取り込みながら、外部に対しては開けた場所になるようにした。
タイトルの **C-toilet** は形からとったもの。

【質疑応答】

（大坪委員長）

- ・プレゼンがすごい。
- ・アイデアコンペなら最優秀賞だろう。
しかし、実作をつくるコンペには、維持管理やコストなどの条件があるので難しい。
- ・トイレがゲートのようにになっている。画期的だが、構造面など実現するには課題がある。
- ・すばらしい感性を伸ばして行ってほしい。

（来場者）

- ・高さはどう考えたのか？埋没させたかったのか？

（岡崎さん）

トイレのレベルは同じ。敷地としては **1/20** のスロープになっている。

この場所をトイレだけの場所としていいのか？と考え、トイレは最小限の機能にして、上を歩けるようにするなどして、新しい公共の場になると考えた。

（山田さん）

屋根（通路）の機能は？

（岡崎さん）

広大な公園を見渡せて、位置が確認できるという機能がある。

奨励賞

集落の路

大阪府立大学工業高等専門学校
5年

佐藤 雄亮・石井 晶



【発表】

- ・ブースを分散させて集落のようにして、集落のような雰囲気を出して自然と調和させた。
- ・訪れた人が視覚的にも楽しめるように、また住民のように感じることができるようにした。
- ・花を植えることで、四季、自然を感じることができる。
- ・通路を曲げさせて、ブースまで集落を散策している感覚を味わえる。
- ・ブースごとに構成しているので、増築・減築ができる。
- ・25cm 感覚のグリッドによって配置している。ブースの中がみえないようにした。
- ・屋根の高さを変えることで、通風や採光できる。
- ・歩く楽しさがある、避難に対しても利点がある。

【質疑応答】

(大坪委員長)

大人には発想できないアイデア。女性のような柔らかい発想だと思った。

(佐藤さん)

面積を試算して、オーバーしてしまうことがわかったため、通路部分をなくすことで面積をクリアしようと考え、ブースを分散させた。

(大坪委員長)

屋根などに光を通すような材料を使用するのも提案されてもよかったのでは。

管理面では問題が多い。市民が利用するという点も。実施は難しい案。

(南委員)

利用者が混乱するのではないかと懸念される。子どもは喜ぶだろう。

屋根の重なりで、雨の処理が難しそう。

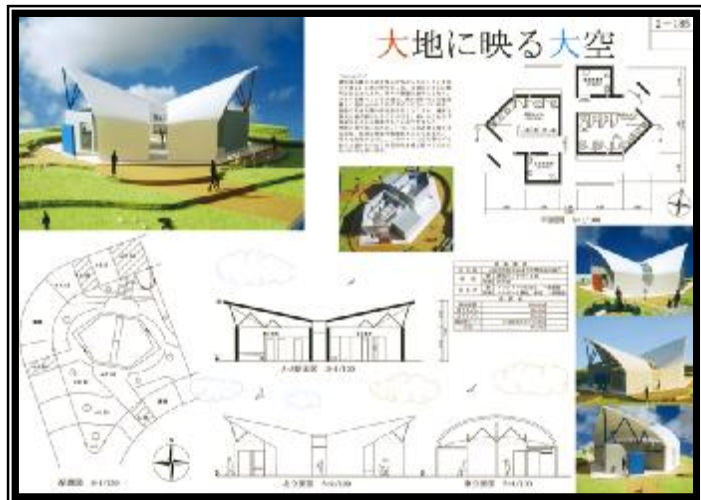
若々しい面白い発想。

佳作

大地に映る大空

大阪建設専門学校 1年

伊地知 真人



【発表】

- ・現地を視察して、どこまでも続く青い空が印象的だったので、いつまでも人々を見守ってくれる大空をモチーフにしようと考えた。
公園で遊ぶ人たちは、空が青色から茜色に変わるまで、公園で楽しい時間を過ごしていた。
- ・敷地の高いところに建物を配置し、大空が建物に映り込むようにみえる。
- ・3方向からのアプローチができる。
- ・太陽光を3方向から取り入れることができる。採光、通風に配慮した。
- ・各ブースが建物に入り込んでおり、建物の温度や光の心地よさ、空気の流れを感じてもらえる。
- ・空が与える希望や感動を感じてもらえる新しいトイレを計画した。

【質疑応答】

(大坪委員長)

- ・大人しいまとまった提案。屋根がとんぼかテントウムシのようにもみえた。
- ・特徴ある屋根をコルゲート鋼板とした理由は？

(伊地知さん)

コルゲート鋼板は加工が可能という点、
また人工的な材料にして、自然との対比をさせるという点から。

(大坪委員長)

コルゲート鋼板は端部がギザギザになる。構造解析も難しい。(遠藤秀平さんが有名)
屋根と壁が一体となっているが、雨の処理の方法も難しそう。
素直にまとめており、形も蜻蛉池公園にふさわしい案。

(南委員)

トイレブースには天井がないのか？雨の防御を考慮したほうがいい。
コルゲート鋼板というイメージより、もっと相応しい材料があったのでは。
シンプルで飛び立つような形で、かつうまく考えられている。

佳作

花ミズキに ゆれながら

大阪市立
都島工業高等学校 2年
西岡 広登



【発表】

- ・水とみどりの調和ということで、シンボルツリーによりトイレと周りとの調和を図ろうとした。
- ・シンボルツリーになる樹木を調べ、ハナミズキにした。
栽培しやすいことや、ピンクの花びらが美しいこと、また秋に紅葉することなどから選定した。
- ・シンプルな丸と四角を組み合わせた外観で親しみやすい。
シンプルなトイレの中にピンクのハナミズキを配置することで、存在感を出せる。
- ・駐車場や公園から多方向にアプローチを設けた。
また、周りに木なども植えず、わかりやすい。
- ・水を表現した LED ライトを埋め込んで、環境に配慮して明るいトイレ。
- ・段差をなくし、排水は通路の端で行う。維持管理のため、掃除用具入れをトイレ前に設置。
- ・トイレの5Kを解消。臭い→通風、汚い→ハナミズキなどの色、香り、暗い→採光、怖い→内部明るく、夜 LED、壊れている→デザインをシンプルに
- ・待ち合わせや休憩に利用できる。

【質疑応答】

- (大坪委員長) ・シンプルにまとまっているプラン。ただ、トイレ内部が外からみえてしまう。
- ・建物の軸を南北に合わせたのはなぜか？
 - ・また、シンボルツリーをハナミズキにしたのはなぜか。
- (西岡さん) ・西側の公園と周辺の園路との関係から軸を決めた。
- ・ハナミズキが好きだからということではなく、シンボルツリーとして検討した。
- (大坪委員長) ・花が咲くときは一時期なので、1年を通してシンボルとなる樹木もある。
- ・プランは、管理しやすく使いやすい。
- (西岡さん) ・アプローチと建物の向きをもっと工夫すればよかった。
- (岡崎さん) ・自分にはなかった発想なのですごいと思う。
- ・トイレのプライバシーがもう少しあってもよかった。
- (来場者) 今回の敷地に近い前のコンクールのトイレとの関連で考えられるともっと広がったのでは。

佳作

自然と水を一望する。

大阪府立
今宮工科高等学校 3年

神山 貴成



【発表】

- ・環境や景観と調和したトイレ、安全・安心なトイレとは、と考えた。
 - ・現地に行き、周りの景色や自然の豊かさを感じ取り、自然を楽しめるトイレにしようと考えた。
 - ・広大な芝生広場、蜻蛉池などの自然があり、それを楽しめるような計画にしようと思った。
→自然、水を一望する
 - ・再度現地に行って、西側の樹林帯に、桜やイチョウがあることに気づき、それを楽しめるようなトイレにすることを考えた。
- トイレ建物の配置を再考し、南側の芝生公園だけではなく、西側がみえるようなL字型の建物形状にした。ベンチやウッドデッキでゆったり楽しめるようにした。

【質疑応答】

- (大坪委員長) 素直な高校生らしい案。建物形状についてなど説明があったが、屋根についてはどう考えたのか。
- (神山さん) できるだけ複雑な形にして、雨水が流れる景色も楽しめるように。
- (大坪委員長) 雨樋は設けず、地面に雨が流れる景色を楽しむということか。
ベンチから西側の景色を楽しむということだが、
庇が少し出ているものの、雨には濡れてしまいそう。夏の日差しも遮れない。
- (神山さん) 庇についてあまり考えていなかった。
ベンチから景色を楽しむということを考えた。
- (来場者) 模型が段ボールでつくられているが、インパクトがあっている。
みなさんの作品を含めて全体的に、平面はよく考えているが、高さ方向の詰めが甘いのではないかと感じている。
- (大坪委員長) 図面も手書きでよさがでている。

優秀作品賞

箱庭

～蜻蛉池公園公共トイレ～

大阪建設専門学校 2年

山田 善紀



【発表】

- ・庭の中にトイレを作ろうと思った。
- ・敷地の形状に沿わせて各トイレを配置して高低差を処理した。
- ・男性用トイレ、多目的トイレ、女性用トイレのそれぞれの間に植栽を植えるスペースを設けた。植栽は、植え替えのできる植物で、蜻蛉池公園内に植えられている植物や近隣に生える植物などを植え、周辺の人々に親しまれるようにした。
- ・トイレは通り抜けることができる。ブースごとにも通り抜けられる。
- ・休憩スペースを設け、ゆっくりとできる。

【質疑応答】

(大坪委員長)

入って使うには楽しいトイレ。

雨の日は、トイレ前面には庇がでていますが、トイレ個室部分から出たとき濡れてしまう。

(山田さん)

個室から出たとき濡れるというのは想定していなかった。

大雨のときは公園に行かないと思った。

(大坪委員長)

突然降ってくることも想定される。

箱庭という人工的な植栽は、管理するのが難しい。

大きな公園の中で人工的な修景要素を作る必要かという議論もある。

管理されていないような公園のランドスケープの中で、非常に管理された植栽を設けるということをやってみたいという気持ちはわかる。

庇の出長さと、壁の高さなどもう少し考慮がほしかった。

優秀作品賞

tombo

大阪建設専門学校 1年

徳原 俊樹



【発表】

- ・蜻蛉池公園の周辺、公園内にも多くのため池がある。江戸時代から蜻蛉池と呼ばれていた。
- ・空と大地をつなぎたい。
- ・開放的な内部は、手洗いなどの空間にした。風が通るように考慮した。
- ・周囲になじむデザインとする。
- ・敷地の高低差があるが、同心円状に広がる構成とし、トイレ建物のレベルを設定した。
- ・トイレの公園側は、芝生広場を望むベンチと、人工的な花壇を配置。
- ・屋根はコケにして、みどりをつなぐことを考えた。
- ・現地で撮影した周辺の地形から、特徴的な曲線を抽出、トンボの羽をモチーフにし、壁面のデザインに。フロストガラス+フラットバー
太い脈と細い脈があり、太い脈は周辺の地形から抽出した曲線で表現。細い脈はボロノイパターンのアルゴリズムにより作成。自然を学んで自然になじんでいく。

【質疑応答】

(大坪委員長) シンプルで、高い評価を受けた作品。

建物の裏側（駐車場側）の表現の豊かさがほしかったと思ったが。

(徳原さん) コストが高くなることと、みどりをつなげるということで、屋上の緑が引き立つのは白い壁面だと思ったので。

(大坪委員長) 風が通るという説明があったが、どう通るのか。

(徳原さん) 西風が主風向なのでそれを意識した。

トイレ個室の壁は **2250mm** の高さで、壁と屋根の間にすきまがある。

(大坪委員長) 建物前面のガラスが割れたらどうするのかという点が懸念される。

(徳原さん) ステンドガラスのように一つ一つガラスをはめこむのではなく、フラットバーの後ろにフロストガラスと考えていた。

(大坪委員長) 単なるスクリーンではなく、屋根を支える構造体とするのもいいのではという意見もあった。

優秀作品賞

柔らかな光がさし込む トイレ空間

大阪市立
都島工業高等学校 2年

村田 豊隆



【発表】

- ・トイレの5Kを解消することを考えた。
- ・トイレを3つに分割して配置。対角線上に、2方向の出入り口がある。
- ・屋根がかかっているが、人が通れる高さになっている。
- ・フッソ樹脂の膜は透光性があり、模型のように光がさし込む。耐久性もある。
- ・5Kの解消 臭い→4方向の通風、暗い→半透明の膜、怖い→4方向の開口部、汚い→内部が明るい、壊れている→人の目が届きやすい

【質疑応答】

(大坪委員長) 柔軟な発想。テント構造か。明るくて気持ちのいい空間になるだろう。

(村田さん) フッソ樹脂のテント構造。屋根の形を建物につけるのではなく、形そのものに。

(大坪委員長) 手の届く部分を切り裂かれる可能性があるなど、維持管理が難しそう。

維持管理する側からの意見がある一方、それが自由な発想をしめつけることになるという懸念がある。

女性用トイレの手洗いが、男性用トイレとは反対のデザインだが、女性用のほうは、何人かが同時に使うとぶつからないか。

(村田さん) 女性用のほうは、入り口から中が見えないよう、手洗いの壁で立てにしている。プライバシーを考慮した。

(大坪委員長) 手書きでよく描けている。

(来場者) この作品が上位に入ってよかった。せっかくの「あすなる夢建築」なので、こういった作品があるといい。また、今年の入賞作品をみてもよかったと思っている。夢をスポイルしてしまわないようにしてほしい。

(来場者) 実施を外して考えれば、すばらしい造形力。円と四角の造形は意図したのか。

(村田さん) 偶然そうなった。(大坪委員長) そこも意味があると言ってほしいところ。

最優秀作品賞

水とみどりととの調和

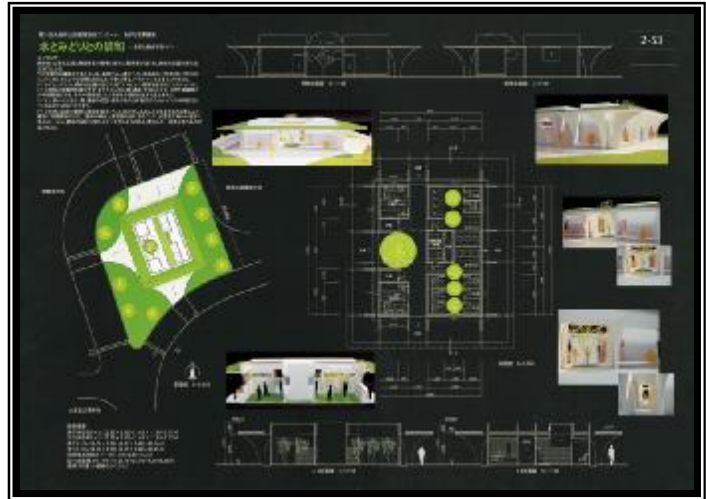
—自然と融合するトイレ—

大阪府立

守口高等職業技術専門学校

1年

田中 一宣



【発表】

- ・ 自然と調和するトイレ。駐車場や蜻蛉池方向、大広場方向へ通り抜けられる。
- ・ 蜻蛉池公園のシンボルとして、トイレ本体の周囲に回廊を設け、壁柱は曲線とし、神殿風の柱などで、トイレにみえない建築にした。
- ・ パブリックとプライベートの中間領域を形成するようにと考えた。
公衆トイレはパブリックで、トイレ個室はプライベートな空間とし、通路がその中間領域になる。
植栽により中庭的にして、公園に来ている意識を途切れさせないようにした。
- ・ 調和としては、シンボルツリーや、緑化により芝生との一体感をもたせた。

【質疑応答】

(大坪委員長) 神殿風の建築になっている。四周の庇と柱で形をまとめている。

大きな庇の上の屋上緑化や通路部分の植栽について、実現に際して難しいかもしれない。管理する側の意見があると思うが、攻防してほしい。

トレーニングになると思うので、がんばってほしい。

(伊地知さん) 回廊の水はどこから流れてくるのか。

(田中さん) 循環式を考えている。

(徳原さん) 敷地に高低差があるが、レベルはどう考えているのか。

(田中さん) 建物のレベルではフラット。その周囲をスロープで解消できないかと考えている。

(大坪委員長) レベル設定については、設計の際は細かくつめないといけない。

(来場者) 通路部分の植栽は育つのだろうか。

(田中さん) トイレ内の樹木は細い低木。あまり茂らない木を考えている。

トップライトからの強い光を木で緩衝させたい。

また、通気によりみどりが揺れる。公園内にいるような感覚になる。

(大坪委員長) 意見があったところは、管理側が気にしている点でもある。

いろいろと実施にあたってつめていってほしい。

全体講評

審査委員長

武庫川女子大学生活環境学部

生活環境学科教授

大坪 明



受賞者の皆様、受賞おめでとうございます。

また、プレゼンテーションの準備をしていただき、ありがとうございました。

ここ数年のコンクールは、管理という面のチェックがかなり入ってきている。

ただ、建築は、長く使われるためには、使われる側や維持する側の意見を尊重することが大事。

若い人にはいろんな発想をしていただきたい。

夢をできるだけつぶさないでコンクールを続けていきたい。

アイデアに加えて、使う側の立場や維持管理する立場にたって考えてほしい。

自由な発想だけで建築ができればいいが、世の中はそうではない。

最優秀作品を受賞された田中さんは、自分の考えはしっかりもっておいていただきたいが、使う側や管理する側などの意見をもらったらきっと悩まれるだろう。

今後コンクールにチャレンジされる方も、アイデアだけでなく、維持管理面なども考えてほしい。

審査講評の冒頭でも述べたが、建築というもののもっている影響力は大きい。

福島原発は、何かあったときに非常に大きな影響を与えるということをあまり考えられていなかったのではないかと。 “想定外”という言葉があった。

ものができてから気づいたのでは遅い。建築はそういった厳しい世界である。

そういう意味も含めて、挑戦しがいがあるといえる。

受賞者の方は皆男子学生で、ガッツのある学生を教えられたら私はうれしいと思う。

将来、この経験を活かして大いに飛翔して行ってほしい。

ご指導いただいた先生方もありがとうございました。

今後ともコンクールにぜひ学生を参加させていただきますようお願いいたします。